

公表

## 事業所における自己評価結果

| 事業所名     |    | 多機能型デイサービス ひかり（放課後等デイサービス）                                                                                                                           |    |     | 公表日                                                    |                                                              | 2025年 4月 9日 |  |
|----------|----|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----|-----|--------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------|-------------|--|
|          |    | チェック項目                                                                                                                                               | はい | いいえ | 工夫している点                                                | 課題や改善すべき点                                                    |             |  |
| 環境・体制整備  | 1  | 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。                                                                                                                         | 9  |     |                                                        | 基準は適切であるが、身体障害の児童が多いため人数が増えると狭くなることが予想される。今後広い場所への移設も検討している。 |             |  |
|          | 2  | 利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。                                                                                                                     | 9  |     |                                                        |                                                              |             |  |
|          | 3  | 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。                                                                | 9  |     | 空間的には広いため、死角がなく、子どもたちの動きを観察でき、見守りしやすい。また余計なものを配置していない。 |                                                              |             |  |
|          | 4  | 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。                                                                                                | 9  |     |                                                        |                                                              |             |  |
|          | 5  | 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。                                                                                                           | 7  | 2   |                                                        | 構造上仕方がないが、個別で使用している部屋が人の出入りがあるところなので、パーテーションを使用すると良いと思う。     |             |  |
| 業務改善     | 6  | 業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。                                                                                                       | 9  |     | 常勤の職員は、普段のミーティングの中で振り返りを行い共通理解をしている。                   | 非常勤で週に1～2回の勤務の職員には、なかなか参画してもらえていない。今後は、参画できるよう勤務の工夫が必要。      |             |  |
|          | 7  | 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。                                                                                                 | 7  | 2   |                                                        |                                                              |             |  |
|          | 8  | 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。                                                                                                               | 7  | 2   |                                                        |                                                              |             |  |
|          | 9  | 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。                                                                                                                     |    | 9   |                                                        | 第三者評価は実施していない。                                               |             |  |
|          | 10 | 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。                                                                                                    | 7  | 2   | 常勤の職員の研修への参加は、勤務を調整して行っている。                            | 勤務回数が少ない非常勤職員も参加できるよう調整していく必要がある。                            |             |  |
| 適切な支援の提供 | 11 | 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。                                                                                                                              | 9  |     |                                                        |                                                              |             |  |
|          | 12 | 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。                                                                               | 9  |     |                                                        |                                                              |             |  |
|          | 13 | 放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。                                                                 | 9  |     | 支援会議により、常勤の職員が主となって一緒に検討を行っている。                        |                                                              |             |  |
|          | 14 | 放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。                                                                                                              | 9  |     | 非常勤の職員で勤務回数が少ない職員にも見てもらえるよう共有ノートと一緒に提示している。            |                                                              |             |  |
|          | 15 | こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。                                                                  | 6  | 3   |                                                        |                                                              |             |  |
|          | 16 | 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。 | 9  |     |                                                        |                                                              |             |  |
|          | 17 | 活動プログラムの立案をチームで行っているか。                                                                                                                               | 4  | 5   | 常勤の職員のみで立案している。                                        | 今後は、非常勤の職員の意見も取り入れてより良い工夫をしながら検討していきたい。                      |             |  |
|          | 18 | 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。                                                                                                                             | 9  |     | 創作活動、レクリエーションなど、連日で同じような活動にならないよう配慮し、新しいゲームなども考案している。  |                                                              |             |  |
|          | 19 | こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。                                                                                             | 9  |     | 休日利用の時には、午前に集団活動、午後に個別活動と決めて支援を行っている。                  |                                                              |             |  |
|          | 20 | 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。                                                                                      | 9  |     | ミーティングにて、その日の利用児、送迎、支援内容の確認を行なっている。                    |                                                              |             |  |
|          | 21 | 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。                                                                                               | 9  |     | 退勤時間の都合上、終了時のミーティングに参加出来ない職員もいるため、共有ノートを活用している。        |                                                              |             |  |

|              |    |                                                                                            |   |   |                                                                     |                                                    |
|--------------|----|--------------------------------------------------------------------------------------------|---|---|---------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------|
|              | 22 | 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。                                                     | 9 |   |                                                                     |                                                    |
|              | 23 | 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。                                      | 6 | 3 | 児童発達支援管理責任者が中心となっており、会議などで職員への情報共有を行っている。                           |                                                    |
|              | 24 | 放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ、支援を行っているか。                                              | 9 |   | 地域交流の活動が出来ていないが、地域のスーパーや公共施設等への外出は行っている。                            | 今後は、近隣の地域住民や事業所等との交流も検討していく。                       |
|              | 25 | 子どもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。                                       | 9 |   |                                                                     |                                                    |
| 関係機関や保護者との連携 | 26 | 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、その子どもの状況をよく理解した者が参画しているか。                                   | 9 |   | 児童発達支援管理責任者が必ず参加している。必要時に理学療法士や看護師も参加している。                          |                                                    |
|              | 27 | 地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。                                 | 9 |   | 学校、熊大小児在宅医療センターなどとの連携を図っている。                                        |                                                    |
|              | 28 | 学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。                    | 9 |   | 学校や保護者を通じて情報共有を行っている。また、欠席の連絡も保護者により連絡をしていただいている。                   | 欠席時の連絡を忘れる保護者がいるため、今後は連絡体制の工夫が必要。また、連絡の必要性を周知していく。 |
|              | 29 | 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。                                   | 9 |   | 児童発達支援管理責任者を中心に情報共有を行い、職員全体にも情報共有している。                              |                                                    |
|              | 30 | 学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。                           | 9 |   | 移行支援会議に参加し、情報提供を行っている。                                              |                                                    |
|              | 31 | 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。                                    | 9 |   |                                                                     |                                                    |
|              | 32 | 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会があるか。                                                     |   | 9 | 身体障害児と医療的ケア児を中心にお預かりしているため、難しい部分がある。                                | 今後は、近隣の事業所との交流を検討している。                             |
|              | 33 | （自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。                                                                    | 9 |   | 児童発達支援管理責任者を中心にこども部会に参加している。                                        |                                                    |
|              | 34 | 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。                                           | 9 |   | 送迎時や連絡ツールを利用して、保護者に状況を伝え、家庭での様子も伺っている。                              |                                                    |
|              | 35 | 家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。               | 9 |   | 必要時、ペアレント・トレーニング等への情報提供を行っている。                                      |                                                    |
| 保護者への説明等     | 36 | 運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。                                                       | 9 |   | 契約時に契約書、重要事項説明書をもとに説明を行っている。その他、問い合わせがあれば都度説明している。                  |                                                    |
|              | 37 | 放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。         | 9 |   | 担当者会議などの際に確認を行っている。                                                 |                                                    |
|              | 38 | 「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。                                 | 9 |   |                                                                     |                                                    |
|              | 39 | 家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。                                              | 9 |   | 児童発達支援管理責任者を中心におこなっているが、職員で対応できる時には職員で対応、出来ない時には児童発達支援管理責任者で対応している。 |                                                    |
|              | 40 | 父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。 | 9 |   | 重症児（者）の親の会の活動支援を行っており、保護者向けの研修会を開催した。それにより、保護者同士の交流もできるよう工夫している。    | 保護者の茶話会なども検討していきたい。                                |
|              | 41 | こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。                       | 9 |   | 対応の体制については、契約時に説明している。苦情があった場合は、管理者が対応する。                           |                                                    |
|              | 42 | 定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。                   | 6 | 3 | ホームページやLINEアカウント、連絡ツールのアプリを利用して保護者へ発信している。                          |                                                    |
|              | 43 | 個人情報の取扱いに十分留意しているか。                                                                        | 9 |   | 十分に留意し、また、個人情報保護の同意書も記入していただいている。                                   |                                                    |
|              | 44 | 障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。                                                      | 9 |   | 送迎時や連絡アプリのツール、LINEアカウントなどの利用も含めて伝達している。                             |                                                    |
|              | 45 | 事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。                                                      | 4 | 5 | 近隣の家が1軒しかなく、地域住民の招待は出来ていない。近隣の支援学校の教員の訪問はあっている。                     |                                                    |

|         |    |                                                                                  |   |  |                                                      |                                     |
|---------|----|----------------------------------------------------------------------------------|---|--|------------------------------------------------------|-------------------------------------|
| 非常時等の対応 | 46 | 事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。  | 9 |  | 緊急時の対応については、契約時に説明を行っている。また感染症については、都度、保護者へお知らせしている。 |                                     |
|         | 47 | 業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。                        | 9 |  | 場面設定を行い、訓練時の役割分担を決めて子供たちも含めて実施している。                  |                                     |
|         | 48 | 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。                                              | 9 |  | 保護者に必ず確認を取っている。送迎時、連絡アプリのツールを利用して確認を取っている。           |                                     |
|         | 49 | 食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。                                           | 9 |  | 契約時にアレルギーの有無の確認を行ない、対応している。現在、食物アレルギーの児はいない。         |                                     |
|         | 50 | 安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。                     | 9 |  | 安全計画の作成、研修を実施し、安全管理の中で支援を行っている。                      |                                     |
|         | 51 | こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。                        | 9 |  |                                                      | 家族等への周知を図っているが、まだ完全ではないため、再度周知していく。 |
|         | 52 | ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。                                          | 9 |  | ヒヤリハットの共有をミーティング時に行っている。                             |                                     |
|         | 53 | 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。                                             | 9 |  | 常勤の職員には必ず研修を実施。非常勤の職員にもできるだけ参加してもらっている。              |                                     |
|         | 54 | どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。 | 9 |  | 同意書を取り、必要時は計画に反映させている。                               |                                     |